

平成 30 年度公共交通分野におけるオープンデータ化の推進に関する調査検討業務 施設情報データ仕様（案）

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

1. データ仕様概要

本業務で整備する駅構内の施設データは、一般の開発者等が容易に二次利用を行うことができるように、以下の形式のデータとして整備し、それをオープンデータとして提供する。

1.1 データ形式

データ形式は、CSV(Comma-Separated Values)形式とする。対象駅ごとに、含まれる施設情報を以下の形式で 1 ファイルに纏めて、公開する。それぞれの項目の詳細は、3 節にて述べる。

- CSV ファイルの各行について、1 つの施設を格納する。
- 各施設には固有 ID として ucode を割り当てる。割り当てた ucode は、1 列目に記載する。
- 各施設は、本業務で整備する、「階層別屋内地理空間情報データ仕様書」に基づく駅構内図のオブジェクトと対応付ける。そのために、図面とオブジェクトの ID を、2 列目および 3 列目に記載する。
- 施設は 2 節に示す種別により分類する。4 列目には、その施設種別コードを記載する。
- 5 列目以降に、施設ごとの属性を列挙する。

1.2 メタデータ

本データを公開する際には、データ作成者やデータ更新日を示したメタデータとあわせて公開するものとする。本データに付属するメタデータは、別途定義する。

1.3 エンコーディング

本データでは、施設名称の多言語表記も併せて整備するために、文字コードとしては「UTF-8（BOM なし）」を利用する。また、改行コードは「CRLF」とする。

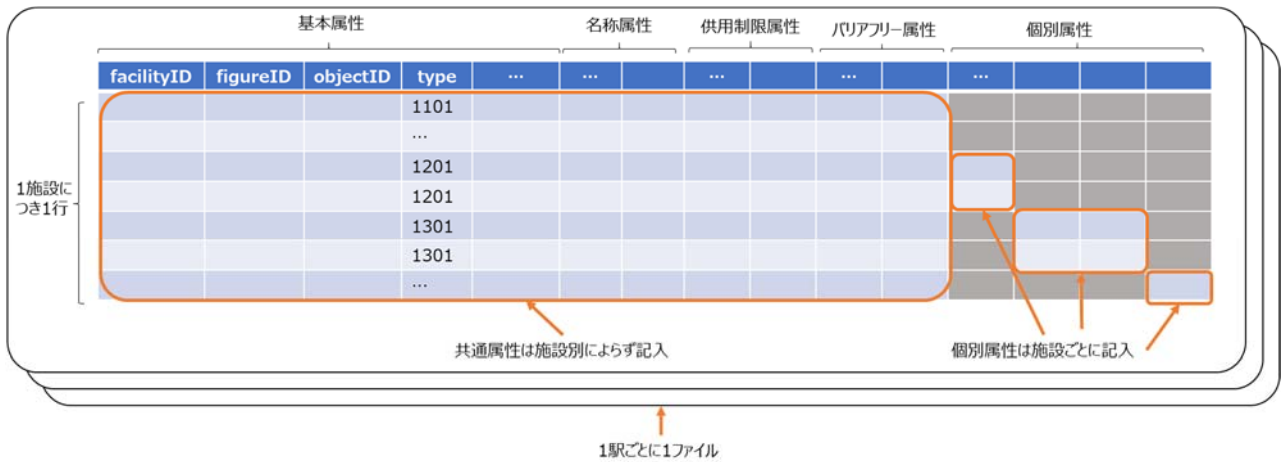
1.4 その他の留意点

本データの利用にあたり、以下の点に留意する。

- 施設種別により該当する情報のない属性や、不明な属性等については、空白とする。
- 本仕様で規定する属性で表現できない重要な事項は、「備考」属性として自然文で記載する。

1.5 データの構成イメージ

本データの全体構成イメージを図示すると、以下の図のようになる。



1つのCSVファイルには対象とする1駅の情報に記載されている。また、各ファイルの1行には、対象とする1施設の情報に記載されている。前半の列には、施設種別に関わらない共通属性が、後半の列には、施設種別毎の個別属性が記載されている。

CSVファイルの第1行には、列ごとのデータを識別する名称が記載されている。これは、3節の各属性の表にある「タイトル」の値である。

2. 対象施設

2.1 対象施設の分類

本仕様では、駅構内における施設を、以下の 2 種類に分類する。

- 歩行空間：一般利用者が、通行のために利用する空間。さらに以下の 4 種類に分類する。
 - － 通路：特に区別する必要のある駅構内のスペース
 - － プラットフォーム：駅のプラットフォーム
 - － 昇降設備等：階段、エレベータ、エスカレータ等、昇降に用いる設備およびそれに準ずるもの
 - － 障害物：歩行空間にある移動を妨げるもの
- 駅構内施設：駅構内にある、一般利用者に何らかの機能を提供する施設。さらに以下の 4 種類に分類する。
 - － 改札・券売関連設備：改札および券売に関する施設
 - － トイレ・支援設備：トイレのほか、授乳室等の特別なニーズを持つ利用者への支援を行う施設
 - － 有人施設：その他一般の施設のうち有人であるもの
 - － 無人施設：その他一般の施設のうち無人であるもの

それぞれ、次ページの表に示すものを対象とし、種別毎にコードを割り当てる。

2.2 対象施設と属性の対応

全ての施設について、対象施設の分類にかかわらず、以下に列挙する共通の属性を定義する。

- 基本属性（3.1.1 節）
- 名称に関する共通属性（3.1.2 節）
- 供用制限に関する共通属性（3.1.3 節）
- バリアフリーに関する共通属性（3.1.4 節）

一方で、一部の施設については特に移動制約者を含む利用者の利便性にとって重要であることから、本書の 3.2 節にて、より細かな追加の属性を定義する。追加の属性を定義する必要のある施設や、別途注釈の必要な施設については、次ページの表の備考欄にそれを示す。

表 1. 本仕様の対象施設の分類

コード	大分類	小分類	施設種別	備考
1101	歩行空間	通路等	通路	
1102			広場	
1103			出入口	
1201		プラットフォーム	プラットフォーム	3.2.1 節に個別属性を定義
1301		昇降設備等	階段	3.2.2 節に個別属性を定義
1302			スロープ	移動支援のための、勾配のある通路
1303			エスカレータ	3.2.3 節に個別属性を定義
1304			エレベータ	3.2.4 節に個別属性を定義
1305			動く歩道	3.2.5 節に個別属性を定義
1306			その他昇降設備等	
1401		障害物	段差	
1402			勾配	1302 を除く、勾配のある通路
1403			その他障害物	局所的に注意が必要なポイント（例：溝や穴があり通行に注意が必要な箇所があるなど）
2101	駅構内 施設	改札・券売関連 設備	改札口	3.2.6 節に個別属性を定義
2102			券売機	3.2.7 節に個別属性を定義
2103			精算機	3.2.7 節に個別属性を定義
2104			有人切符売場	
2201		トイレ・支援設備	トイレ	3.2.8 節に個別属性を定義
2202			ナーシングルーム・ 授乳室	
2203			AED	
2204			祈祷室	
2205			待合所	
2301		有人施設	案内所	
2302			拾得物預かり場所	
2303			手荷物預かり場所	
2304			駅事務室	
2305			商業施設（店舗、 売店）	
2306			交番	
2401		無人施設	コインロッカー	
2402	ATM		3.2.7 節に個別属性を定義	
2403	ポスト			
2404	自動販売機			

3. 属性項目

施設の属性項目を、施設に共通して表記する「基本属性」と施設ごとに表記する「個別属性」に分けて定義する。

各属性を定義する表において、No とは項目を識別する番号であり、タイトルは CSV ファイルの第 1 行に記載される項目を識別する名称である。

3.1 共通属性

3.1.1 基本属性

全施設に共通で、各施設の種別および図面上の位置との対応付けを行うために必要となる属性として、以下を定義する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
1	施設 ID	facilityID	unicode	施設の固有 ID。
2	図面 ID	figureID		本施設が記載された「階層別屋内地理空間情報データ仕様書」上の図面の参照先。
3	オブジェクト ID	objectID		図面 ID で指定された図面上の本施設のオブジェクト ID。
4	施設種別	type	コード	施設の種別を表すコード。表 1 に示したものを記載する。
5	緯度	latitude	数値	施設中心の世界測地系に基づく緯度。
6	経度	longitude	数値	施設中心の世界測地系に基づく経度。
7	階層	floor	数値	本施設の階層。屋外を 0 とし、地上階を正の値、地下階を負の値で表現する。中 N 階は、N-0.5 とする。たとえば「中 2 階」は 1.5 である。

3.1.2 名称に関する共通属性

全施設に共通で、各施設の名称を表す属性として、以下を定義する。

「2404 自動販売機」については、販売している商品の種別（飲料・アイスクリーム・麺類）また業種を、その名称として記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
8	名称	title@ja	文字列	施設の名称。
9	ふりがな	title@ja-Hira	文字列	施設の名称のふりがな。
10	名称（英語）	title@en	文字列	施設名称の英語表記。
11	名称（簡体字）	title@zh-cn	文字列	施設名称の中国語簡体字表記。
12	名称（繁体字）	title@zh-tw	文字列	施設名称の中国語繁体字表記。
13	名称（韓国語）	title@zh-ko	文字列	施設名称の韓国語表記。

3.1.3 供用制限に関する共通属性

全施設に共通で、各施設の利用可能な時間帯を表す属性として、以下の属性を定義する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
14	供用開始時刻	serviceStartTime	ISO8601 拡張形式	供用時間制限のある場合、供用開始時刻を記載。形式は「HH:MM」とする。
15	供用終了時刻	serviceEndTime	ISO8601 拡張形式	供用時間制限のある場合、供用終了時刻を記載。形式は「HH:MM」とする。この値が供用開始時刻よりも前である場合、これは翌日の時刻であることを示す。
16	供用開始日	serviceStartDate	ISO8601 拡張形式	工事などにより供用開始となる場合、供用開始日を記載。形式は「YYYY-MM-DD」とする。
17	供用終了日	serviceStartEnd	ISO8601 拡張形式	工事などにより長期の供用中断が予定されている場合、供用終了日を記載。形式は「YYYY-MM-DD」とする。
18	供用不可期間	serviceStopPeriod	ISO8601 拡張形式	メンテナンス等により短期的な供用停止が予定されている場合、供用不可期間を記載。形式は「期間の開始 YYYY-MM-DDThh:mm:ss/期間の終了 YYYY-MM-DDThh:mm:ss」をカンマ区切りで繋げる ¹ 。
19	供用制限曜日	serviceLimiteDday	文字列	供用曜日制限のある場合、供用しない曜日を記載。曜日を数字に変換(1:月曜日~7:日曜日)し、数字の小さい順にカンマ区切りで続けて表記する。
20	供用制限備考	noteForServiceLimit@ja	文字列	時間帯によって利用に部分的な制限が加わる場合には、詳細を記載する。

¹ 期間の表記方法の詳細は、ISO8601 の仕様を参照のこと。

3.1.4 バリアフリーに関する共通属性

全施設に共通で、各施設の基本的なバリアフリー状況を表す属性を定義する。なお、本属性にあたっては、以下の点に留意する。

- 大分類が歩行空間である施設については、当該施設の通行にあたって障害となるかという観点で判断する。
- 大分類が駅構内施設である施設については、当該施設を利用する際の障害となるかという観点で判断する。
(例：幅員、縦断勾配、段差、路面状況などは、施設入口の状況を記載する。)
- 同じ箇所に複数の施設が存在する場合には、その中で最もバリアが少ないものについての状況を記載する。
(例：複数の改札がある場合には、その中で最も広いものの幅員を記載する。)

また、本仕様で規定する属性で表現するのできないバリアフリー上の重要な事項は、備考欄に記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
21	幅員	width	コード	利用に際して通過する必要のある、最も狭い幅員を表す。エレベータ等は、入口の幅員とする。 1:1.0m 未満、2:1.0m 以上~2.0m 未満、3:2.0m 以上~3.0m 未満、4:3.0m 以上
22	縦断勾配	verticalSlope	コード	施設を利用するために通過する必要のある勾配を表す。 1:5%以下、2:5%より大きい
23	段差	step	コード	施設を利用するために通過する必要のある段差を表す。 1:2 cm 以下、2:2 cm より大きい
24	路面状況	availableForWheelchair	コード	路面状況に応じた、車椅子の通行の可否を表す。 1: 車椅子の通行に支障なし、2: 車椅子の通行に支障あり
25	手すり	handrail	コード	手すりの設置の有無を表す。エレベータや各種施設については、進入方向を基準に左右を判断する。(貫通型エレベータの場合は、最下階を基準とする。) また昇降設備については、上り方向を基準に左右を判断する。 1:なし、2:右側にあり、3:左側にあり、4:両側にあり
26	扉の種類	typeOFDoor	コード	施設入口の扉を表す。 1:なし、2:自動ドア、3:自動ドア(押しボタン式)、4:手動式引戸、5:手動式開戸、6:回転ドア、7:その他のドア

No	項目名	タイトル	形式	説明
27	視覚障がい者誘導用ブロックの有無	hasDerivationBlock	コード	施設の存在を知らせるために、その施設の周辺・前後に視覚障がい者用ブロック等が設置されているか否かを表す。 1:なし、2:あり
28	音声案内	hasAudioAssist	コード	視覚障がい者向けの音声案内の有無を表す。たとえば、階段を示す鳥の声、チャイム、音声による構内放送、操作を補助する音声、等が該当する。 1: なし、2:あり
29	点字表示	hasBraille	コード	視覚障がい者向けの点字表示の有無を表す。たとえば、案内板やエレベータの階数の点字表示、触知地図、等が該当する。 1: なし、2:あり
30	聴覚障がい者対応の有無	availableForAurallyChallenged	コード	施設の聴覚障がい者対応の有無を表す。たとえば、タブレット端末、電光掲示板やサインージ端末での表示等が該当する。 1: なし、2 あり
31	呼び出しボタンの有無	hasCallButton	コード	緊急用呼び出しボタンの有無を表す。 1: なし、2 あり
32	手話サービスの有無	hasSignLanguageService	コード	手話サービスの有無を表す。 1: なし、2 あり
33	筆談ボードの有無	hasWriteMessageBoard	コード	筆談ボードの有無を表す。 1: なし、2 あり
34	対応言語	availableLanguages	文字列	案内板やタブレット、設置されている機器そのもの、有人による案内等において、対応している言語を、ISO639-1 に基づく言語コードのカンマ区切りで表す。
35	バリアフリー備考	noteForBarrierFree@ja	文字列	その他、バリアフリー上の重要な事項。

3.2 個別属性

3.2.1 プラットフォームに関する属性

プラットフォームについては、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、単式のプラットフォームの場合は、線番2の項目は記載しないものとする。

No	項目名	タイトル	形式	説明
36	線番 1	trackNumber1	文 字 列	数値の線番を表す。島式の場合は、小さいものを表す。
37	線番 2	trackNumber2	文 字 列	数値の線番を表す。島式の場合は、大きいものを表す。
38	ホームドア 1	hasPlatformScreenDoor1	コード	線番 1 のホームドアの有無を表す。 1: なし、2:あり
39	ホームドア 2	hasPlatformScreenDoor2	コード	線番 2 のホームドアの有無を表す。 1: なし、2:あり
40	可動式ホーム柵 1	hasMovablePlatformScreenDoor1	コード	線番 1 の可動式ホーム柵の有無を表す。 1: なし、2:あり
41	可動式ホーム柵 2	hasMovablePlatformScreenDoor2	コード	線番 2 の可動式ホーム柵の有無を表す。 1: なし、2:あり

3.2.2 階段に関する属性

階段については、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、方向が時間帯で変化する場合には、共通属性の「供用制限備考」欄に詳細を記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
42	方向	directionOfStairs	コード	通行可能な方向を表す。 1:両方向、2:上り方向、3:下り方向、4:時間帯により変化
43	段数	numberOfSteps	数値	階段の段数を表す。
44	階段昇降機	hasStairLift	コード	階段昇降機の有無を表す。 1: なし、2:あり
45	段差解消機	hasLiftingPlatform	コード	段差解消機の有無を表す。 1: なし、2:あり

3.2.3 エスカレーターに関する属性

エスカレーターについては、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、方向が時間帯で変化する場合には、共通属性の「供用制限備考」欄に詳細を記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
46	方向	directionOfEscalator	コード	通行可能な方向を表す。 1:両方向、2:上り方向、3:下り方向、4:時間帯により変化
47	車いすステップ	hasStepsForWheelchair	コード	車椅子ステップの有無を表す。 1: なし、2:あり

3.2.4 エレベータに関する属性

エレベータについては、共通属性に加え、以下の項目を定義する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
48	形式	typeOfElevator	コード	エレベータの仕様を表す。 1: 普通型、2:貫通型、3:直角型
49	幅	widthOfElevator	数値	エレベータの有効寸法の幅を mm 単位で表す。
50	奥行き	depthOfElevator	数値	エレベータの有効寸法の奥行きを mm 単位で表す。
51	幅員最小値	minWidthOfElevator	数値	エレベータ入口の幅員の最小値を mm 単位で表す。
52	定員	capacityOfElevator	数値	エレベータの定員数を表す。
53	停止階	stopFloor	文字列	一般の利用者が到達可能な、エレベータの停止階を表す。整数のカンマ区切りとする。
54	所要時間	requiredTime	数字	1 基のエレベータに対する最下階から最上階までの標準所要時間（ドアが閉まってから昇降し、ドアが開くまでの時間）を表す。
55	鏡	hasMirror	コード	エレベータ内の、車椅子の方が後方を確認するための鏡の有無を表す。 1: なし、2:あり

3.2.5 動く歩道に関する属性

動く歩道については、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、方向が時間帯で変化する場合には、共通属性の「供用制限備考」欄に詳細を記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
56	方向	directionOfTravelator	文字列	通行可能な方向を、自然文で表す。

3.2.6 改札口に関する属性

改札口は、1箇所（「○○口」という形でまとめられている場所）を1単位とする。

改札口については、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、方向が時間帯で変化する場合には、共通属性の「供用制限備考」欄に詳細を記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
57	台数	numberOf	数値	改札口の台数を表す。
58	方向	directionOfEntranceGates	コード	通過可能な方向を表す。 1:両方向、2:入場方向、3: 出場方向、4:時間帯により 変化
59	有人無 人の別	hasMannedEntranceGates	コード	有人改札の有無を表す。 1: なし、2:あり
60	車椅子 対応	hasEntranceGatesAvailibleForWheelChair	コード	車椅子対応の改札の有無を 表す。 1: なし、2:あり

3.2.7 券売機・精算機・ATMに関する属性

券売機・精算機・ATMは、それらが設置されているまとまった場所を1つの単位とする。

券売機・精算機・ATMについては、共通属性に加え、以下の項目を定義する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
57	台数	numberOf	数値	ATMの台数を表す。(3.2.6 改札口と共通)

3.2.8 トイレに関する属性

トイレは、入口・出口によって区別される単位で記載する。たとえば、多機能トイレと一般トイレの入り口が違う場合は、「男子トイレ」「女子トイレ」「多機能トイレ」の3種類の施設として記載する。

トイレについては、共通属性に加え、以下の項目を定義する。なお、トイレの利用にあたっての留意点については、必要に応じて共通属性の「バリアフリー備考」欄に記載する。

No	項目名	タイトル	形式	説明
61	トイレ種類	typeOfToilet	コード	トイレの種別を表す。 1:一般トイレ、2:多機能トイレ
62	男女別	userOfToilet	コード	トイレの利用者の男女別を表す。 1:男、2:女、3:共用
63	有料無料の別	payToilet	コード	トイレの有料無料の別を表す。 1:無料、2:有料
64	幅	widthOfToilet	数値	多機能トイレについて、便座の向きに対する有効寸法の幅を mm 単位で表す。
65	奥行き	depthOfToilet	数値	多機能トイレについて、便座の向きに対する有効寸法の奥行きを mm 単位で表す。
66	オストメイト対応	avaiableForOstomate	コード	オストメイト対応の有無を表す。 1: なし、2:あり
67	おむつ交換シート	hasBabyChaningTable	コード	おむつ交換シートの有無を表す。 1: なし、2:あり
68	大便器数	numberOfToiletCompartments	数値	トイレ内の便器数を表す。
69	小便器数	numberOfUrinals	数値	男性トイレについて、トイレ内の小便器数を表す。